

みしま

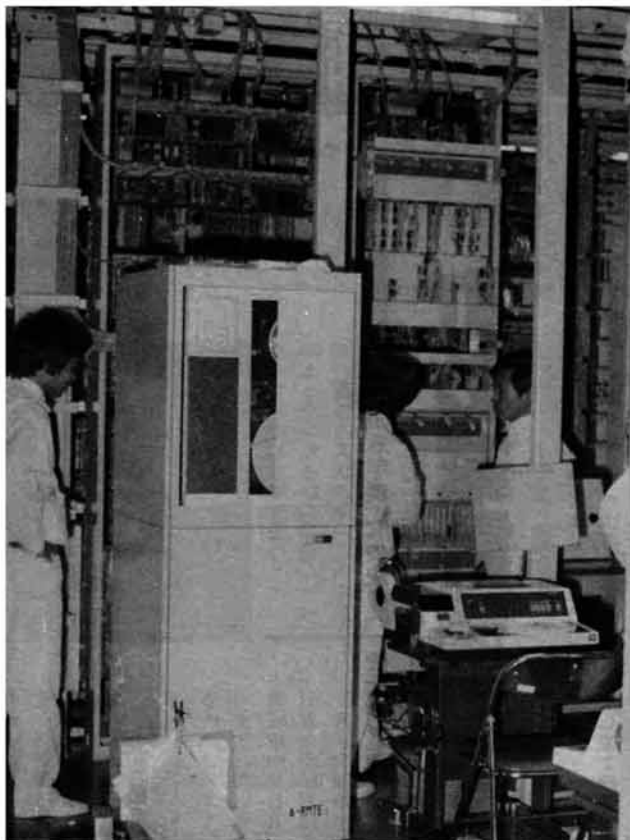
町のすがた

(11月1日現在)

人口	男	3,329人 (+6)
	女	3,516人 (-11)
		6,845人 (-5)
世帯数		1,571 (0)
		()は10月1日との比較

第164号
毎月15日発行
定価1部20円

昭和56年11月15日
発行 新潟県三島郡三島町役場
(025842) 代2221
印刷 長岡市(株)中越タイプ社



局舎内は複雑な機器で別世界のよう



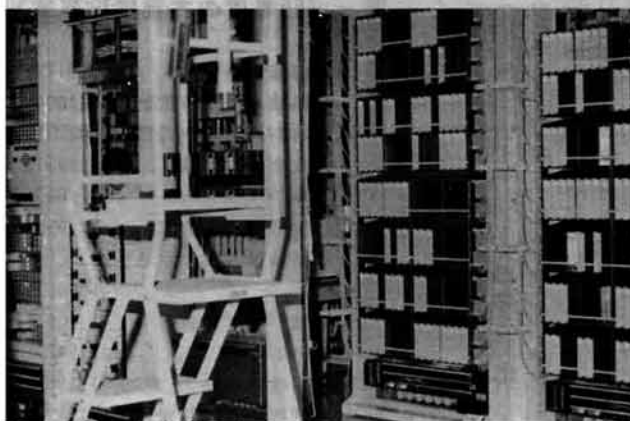
協野町電話交換局に

「電子交換機」

世界の主要国へも、ダイヤルで直接つながる最新鋭の電子交換機が、新築された「協野町電話交換局」でその出番を待っています。無人の交換局では、県下で初めて、「D-20型」というこの交換機、①従来の交換機では対応しにくいブッシュホン、でんわばん等の新しい電話サービスにもすぐたえられる。②故障が少ない。③交換機が小型でスペースをとらない。などの数々の利点を持つということです。

県下(無人局)では初めて

十二月中旬に予定されている交換機の切り替えに備えて、局舎内では最後のテストと点検が行われていた。局舎内は、湿度、湿度とも常に一定に保たれ、機械がこみやほこりを極度に嫌うことから、防じん服を着なければ立ち入りできないという。管内の六百四十ほどの地域集約電話も、同じ日に普通電話に切り替えられることになっており、生活と切り離せない電話の歴史が一つ書き替えられる。



事故防止「二」まで 「交通事故警報」

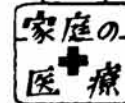
去る十一月五日午後三時、県内に「交通事故警報」という、聞き慣れない警報が発令されたのを、ご存じだろうか。

過去減少傾向にあった交通事故による死亡者数が、今年に入ってから減るところか、むしろ増えるという異常な状態にあるため、県警本部が「非常事態」として交通事故防止策に取り組み、全国では初めてのものです。

県下では、この警報の発令される二日から五日までの四日間に六件もの死亡事故が発生したうえ、当時、雨、風という事故の発生しやすい悪条件がさらに引き続くと思われたため、発令されたものです。

秋口から今ごろにかけては、仕事を終えて勤務先に急ぐ人、あるいは自宅へ帰る人の時間帯がちやうど日没と重なるうえ、今年のような雨続きの毎日ともなれば、道路の大小、場所を問わず、どこも「事故多発地帯」となりうる環境となります。

とにかく、歩行者も運転者もこの、道路上は危険、という現実を考慮して、通常発令後七十二時間自然解除される「警報」とは関係なく、真剣な「警報中」の気持を持ち続ける以外に交通事故を防止する手だてはありませぬ。ましてや、飲酒運転、無謀運転などムチャクチャ、問題外の悪業の最たるものです。



高血圧

寒さは高血圧の「敵」。冷えや寒さは血管(動脈)を収縮させ、血液の流れを悪くします。心臓は、血液を全身に送り届けるポンプの役目をして、血管が、血液の流れが悪くなると、心臓はその分よけに圧力を上げなければなりません。このよ

保温に十分注意

外出時は、一枚余分に重ね着をするとか、帽子や襟巻きを身につけるなどキメ細かな心づかいが必要。室内は、どこも一定の温度にしておくのが理想的で、とくに台所



分の体力を考慮して無理をしないようにし、たとえばラジオ体操や散歩など、毎日一定時間続けることが大切です。運動は、一時的には血圧を上げ

うな状態を高血圧といえます。高血圧は心臓に負担をかけることとはもちろん、動脈硬化を促進し、脳卒中などの原因になります。寒さは高血圧の「敵」と心得て保温には十分気をつけましょう。

やトイレ、ふろの脱衣場などの保温に気を配りましょう。もう一步、積極的な保温対策としては、適度な運動と乾布摩擦が有効です。運動は、自

ますが、体に無理でない限り、血管の緊張をほぐし、血圧を下げる作用をします。しかし、突然思い出したように激しい運動をするのは百害あって一利なし、たいへん危険です。

一方、乾布摩擦はタオルなどを使って、心臓に近い手足から徐々に心臓部に向けて皮膚の表面をこすります。

五分間なら五分間、毎日欠かさず長時間続けると、寒さに対する抵抗力が付き、少々の寒さにも血圧はビクともしなくなりませぬ。寒さに負けない体力づくりも、ぜひおすすめします。

バングラデシュの

＝ 近藤容司郎さんから便り ＝

カネ、品物より「教育」の援助を

「この国が必要としているのはカネではなく知識なのです。」海外青年協力隊員として、バングラデシュに派遣されている逆谷出身の近藤容司郎さんから、こんな内容のお便りが届きました。

昨年十月から、農業技術の指導者として活躍している近藤さんの手紙の一部を紹介いたします。

「今年度、バングラデシュに対する経済援助は日本が一番となりました。しかし、やり方はいいとは言えません。金と物資だけを送り、人間教育に欠けるからです。たとえば、機械を送ってもこの国で直せないことを知っているが、部品を送らない。エンジニアの教育も難しい。この点で、日本の援助は問題があるそうです。

働いている現場で一番困ることは「初等教育が確立されていないため、農業そのものより、簡単な計算の基礎を教えないければなら

ない」という、開発途上国共通の悩みだということです。写真も送らなかったが、カメラが故障してしまったので、この次の機会には送れるということでした。

異国の地で精いっぱい任務に挑む近藤さんの気持がよくわかります。何よりも体に気をつけ、がんばって欲しい。

町民伝大会

優勝は鳥越Bチーム

十一月三日に行われた町内を一周する町民伝大会は、鳥越Bチームが一時間四十四分三秒で優勝しました。

あいにくの雨模様の中、大会を盛り上げた各区分の最高記録者は次のとおりでした。

第一区大谷隆幸(鳥越B)◇
第二区近藤健雄(協野町B)◇
第三区近藤進一(瓜生)◇第四区

今月の保健行事

対象者	内容	とき	ところ
協野町小1-3年生	インフルエンザ予防	11月21日 10:00-11:00	協野町小
" 4-6年生	"	11月20日 14:00-15:00	"
日吉小学校全生徒	"	11月25日 14:00-15:00	日吉小
南部保育所園児	"	11月25日 13:00-13:30	"
協野町保育所園児	"	11月27日 14:00-15:00	協野町小
北部保育所園児	"	11月27日 14:00-15:00	協野町小
53.4-53.9出生児	三子助接種Ⅱ	12月16日 14:00-15:00	"
54.4-54.9出生児	"Ⅰ期の3回目	12月16日 14:00-15:00	"
55.6-56.1出生児	1歳6か月健診 手づくりおやつ作り	12月9日 8:00-13:30	"
成人病検診で尿糖①の人、糖尿病と言われたことのある人	糖尿病検診	12月1日 8:00-11:30 12月17日 13:00-15:30	老人福祉会
希望者	栄養講習会1回目	12月2日 8:30-15:30	鳥越向 上集会場
	" 2回目	12月3日 9:30-15:30	
	" 3回目	12月8日 8:30-15:30	

秋の全国火災予防運動

火を使う機会が多い季節を迎えました。チョットした油断も禁物。お出かけ、おやすみ前に必ず火の元確認を。



11月26日-12月2日

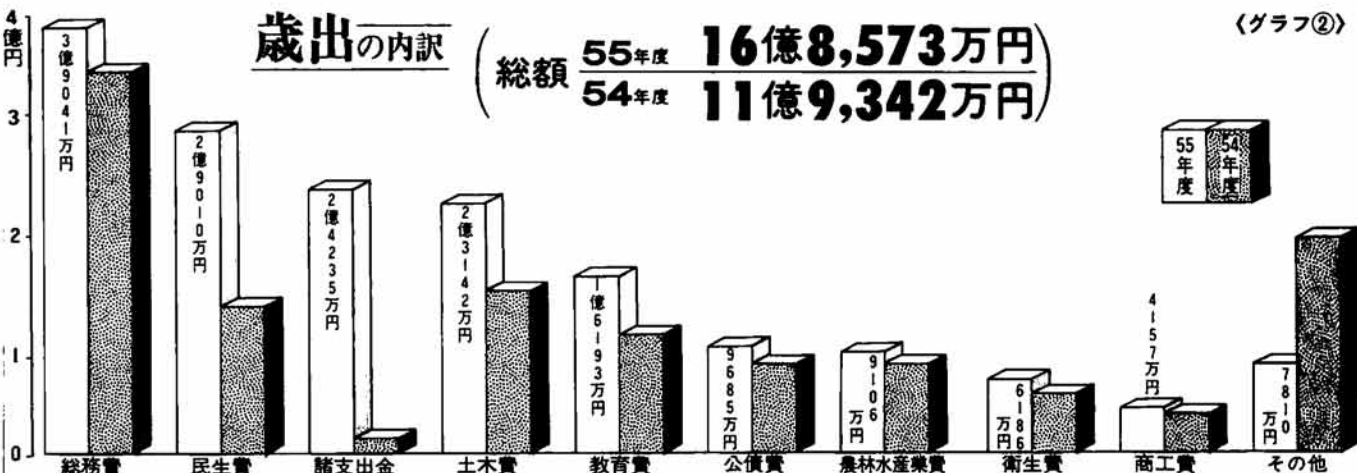
水道管の冬じたく

水道管や、じゃ口の保温材は市販品もありますが、身近なものとして、布、ナワ、フェルト、コモなども有効です。

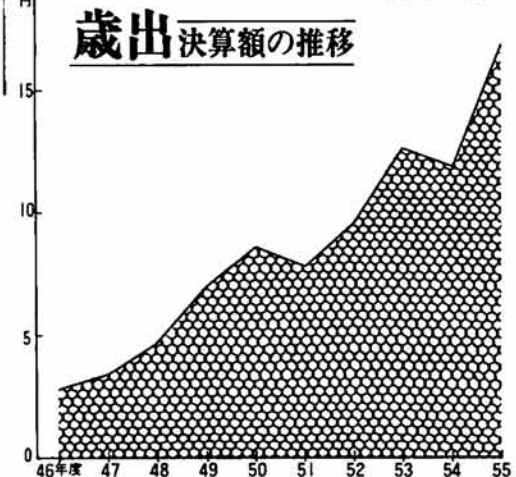
水道管の保温の仕方



(グラフ②)



(グラフ③)



大きく伸びた予算規模

五十五年度の歳入(収入)総額は、十七億三千五百五十万円となりました。この額は五十四年度に比べて四〇・五割、五億円も伸びています。

歳出(支出)額は、十六億八千五百七十三万円です。これも五十四年度に比べて四億九千九百九十九万円増えています。

五十五年度は、歳入、歳出とも、これまでの規模をそれぞれ五億円も上回り「グラフ③」のように過去最高の決算額です。

このことは、それだけ大きな町

町の家計簿です

昭和五十五年度・町の決算(一般会計)

昭和五十五年度の決算がまとまりました。おまかには、皆さんが納めた税金、国や県からの補助金、それに借入金などを財源にして、計画(予算)されたものが、町民の暮らしにどのように使われたのか、その収支や使いみちをまとめたのが決算です。今月はこの決算をみていただくことにしました。金額の数字こそ大きくなりますが、やりくりは皆さんのご家庭とそうちがいはありません。わかりやすいように、前年度の決算と並べて掲げました。また、町の決算にはこのほか二つの特別会計もありますが、次の機会とします。

(55年度の主要建設事業)

南部保育所	1億3,017万円
道路橋りょう新設改良	1億1,000万円
公有財産用地取得造成(特別養護老人ホーム用地)	5,595万円
三島中学校プール	3,468万円
除雷機械及び車庫	2,195万円
消防施設(防火水そう等)	1,806万円
消雪パイプ工事等	1,700万円
都市下水道	1,247万円
河川改修事業	1,190万円
水道事業(建設費負担分)	2億円

基金の繰り入れで 大事業を消化

歳入、歳出をもう少し詳しくみてみます。

歳入の内訳を表したのが「グラフ①」です。地方交付税が全体の三四割、次いで多い繰入金金は、水道事業、南部保育所、三島中学校のプールなど、あらかじめ事業の実施に備えて積み立てていた基金を取りくずして歳入に繰り入れたもので、このような方法で事業を消化した年度に多額に計上される特別な費目です。

一方、歳出を目的別に表したのが「グラフ②」です。民生費、土木費、教育費が前年度に比べて大きく伸びているのは、前に述べた大きな建設事業の実施によるものです。土木費の中には、通常の工事費などのほか、除雷機械の購入、吉崎近隣公園などの新規事業が含まれています。

町民一人当り二十五万円

歳入から歳出を差し引いた残額は四千九百八十八万円、つまり一人当り二十五万円です。

行政経費は、元井さんは、昭和二十二年四月、当時の脇野町の議会議員に当選されて以来、三十数年の間、一貫して自治体の議会議員として、自治行政に貢献されてきました。

元井 勲五等双光旭日章

元井さんは、昭和二十二年四月、当時の脇野町の議会議員に当選されて以来、三十数年の間、一貫して自治体の議会議員として、自治行政に貢献されてきました。

立派な集落センター完成

八月から工事が進められていた瓜生集落開発センターが完成し、十一月一日、同センターで喜びのしゅん工式が行われました。

このセンターは、町では藤宮に次ぐ二番目のもので、倉重繁司区長さんは「これを契機に広い視野のもとで、大字民のお茶の間として十分な活用を図りたい」と、大字にとって大きな事業の完成の喜びを語っておられました。

元井 勲五等双光旭日章

元井さんは、昭和二十二年四月、当時の脇野町の議会議員に当選されて以来、三十数年の間、一貫して自治体の議会議員として、自治行政に貢献されてきました。



全国身障者スポーツ大会

難波淳一さん四位入賞

十月二十四日、二十五日の二日間、滋賀県で開催された「第十七回全国身障者スポーツ大会」に出場した蓮花寺の難波淳一さん(こは)は、立幅跳びと、砲丸投げの両種目に出場し共に四位入賞という立派な成績で、敢闘賞を受賞しました。

難波さんは、子供のころ、視力を全く失うという不幸な事故に遭ったものの、持ち前の明るさでこのハンディを克服、今、針灸師を目指してがんばっています。難波さんの健闘は、国際障害者年の明るい話題として町の評判を呼んでいます。

歳末助け合い募金

今年もご協力を

恵まれない人たちが一人でも多く、明るく楽しいお正月を迎えられるよう、今年も「歳末助け合い募金」が行われます。

町では、各区長、町内会長さんを通じて、各世帯に今年中にお願ひする予定です。

昨年は、この募金に寄せられた温かい篤志が五十万円近くに達し、慰問先のみなさんからたいへん喜ばれました。

今年もこの変らぬ喜びをお届けできるよう、ご協力をお願ひいたします。

十二月四日(土)は

入権週間です

「互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係を作ろう」をスローガンに、第三十三回入権週間が十二月四日から始まります。

間が十二月四日から始まります。ところで、ふだんわたしたちの身の回り起こるさまざまな人権問題を身近に相談できる、法務大臣が委嘱する人権擁護委員という制度があります。

三島町の委員は、気比宮の山田芳助さんと、上岩井の片野空平さんのお二人です。どうぞ、お気軽にご相談ください。

県の最低賃金

一日、二千八百九十六円に

新潟県内に働くすべての労働者に適用される「新潟県最低賃金」が十月十二日から一日、二千八百九十六円に引き上げられました。

今回の改正により、業種別にそれぞれ定められている最低賃金額が、この額を下回るようになる場合は、今回の新しい最低賃金額が適用されます。

この最低賃金は、労働者を不当に安い賃金から保護するなどの目的で「最低賃金法」という法律によって定められているものです。

なお、最低賃金に関する疑問などは、長岡労働基準監督署におたずねください。

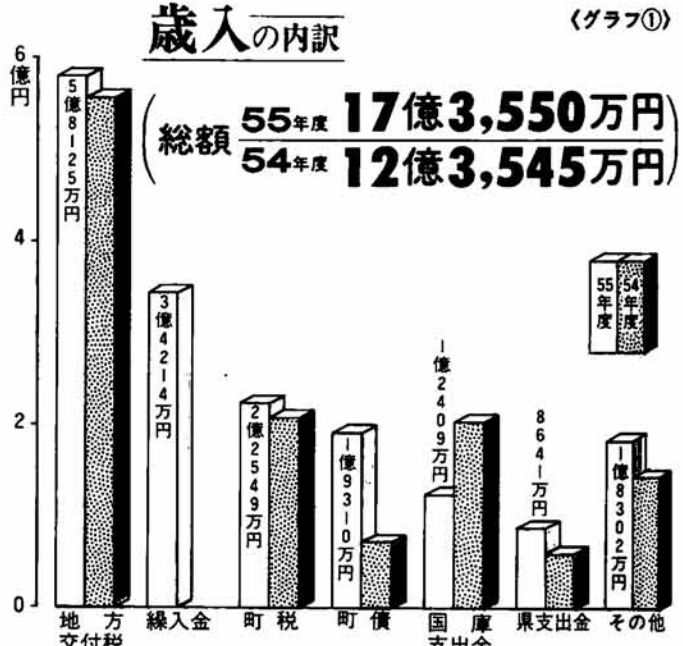
作業停電のお知らせ

次のとおり作業停電します。

▽鳥越のうち、日吉変電所より南側。十一月二十五日、午前九時から午後零時三十分。

▽新保、大野、中条、瓜生、下河根川。十二月九日、午前九時から正午まで。

(グラフ①)



町の家計簿

明治二十二年四月一日、日吉村が生まれた。しかし、日吉の名で今も公式に残っているのは、小学校くらいになってしまった。

写真に見えように、鳥越村、七日市村、雲出村の三村合併である。このままとし、明治十七年の戸長役場のときも同じ範囲であった。また、地形的にも無理がなかったから、合併範囲についてはすんなりと決まった。

しかし、村名のほうにはいろいろ問題が生じた。

明治の村々

最初の案は、山王村(さんおう)であった。鳥越村、七日市村が昔から山王大権現(今の日枝神社)を氏神としてまつてきていたからである。ところが雲出村は、短期間日枝神社の氏子になったことがあっただけで、ほとんど関係がなかった。そのため、山王村という案にクレームがついた。

日枝神社は、もとは山王社であった。江戸時代に、上の山藩から日吉(ひえ)神社という名称をちょうだいした。ところが、明治六年に日枝(ひえ)神社と改称し、



テレビを囲む 小原興一さん一家

逆谷地区の難視聴(テレビ)解消

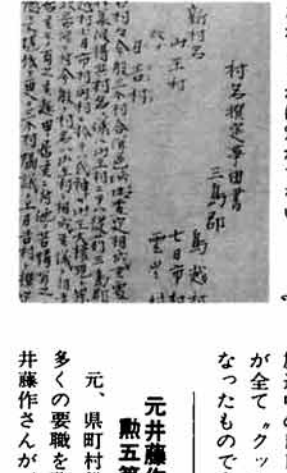
よく映る

逆谷地区の難視聴が解消され、「よく映る」「すこきさい」と、たいへん喜ばれています。

NHKが、逆谷部落と共同で設置したこの受信施設、部落の東側の山の上に立てたアンテナでテレビ電波をキャッチ、そこから有線で各家庭に配線されているものです。

総工費は約五百万円、このうち、アンテナ塔と部落内の幹線は公共放送の受信施設確保ということで、NHKが負担、残りを地元が負担したものです。

さらに部落では、これに合わせ民放の受信施設も取り付け、現在放送中のNHK二局と、民放三局が全て、クッキリ、と映るようになっています。



村名変更申請書 三島町 日吉村